

第1回「法政大学卒業生教員の集い」開催報告

— 令和6年8月23日（金）18:00～20:30 ボアソナード・タワー スカイホール —

法政大学教職課程センター市ヶ谷相談室 相談指導員 橋本 広明

はじめに

新型コロナウイルス感染症の拡大があり、昨年度久しぶりに対面形式で「法政大学若い教師の集い」を開催したところですが、今年度は名称を「法政大学若い教師の集い」から「法政大学卒業生教員の集い」と改め、教職課程センターと入学センターとの合同開催という形で実施しました。

大学側が把握していた名簿を頼りに案内文を郵便または電子メールで送ったところ、本学卒業の現役中高教員等からは53名の参加希望をいただき、市ヶ谷キャンパスにあるボアソナード・タワー内において1部、2部とも滞りなく進行することができました。

1 「法政大学卒業生教員の集い」開催の経過

本学では、昨年度まで教職課程センターと入学センターの2つの部署が、それぞれ卒業生教員向けのイベントを開催していました。

教職課程センターが主催していた「法政大学若い教師の集い」は、教職課程センターのサポートを利用し教員として巣立った若手の卒業生を対象とした会で、懐かしい仲間と再会し教育現場での悩みを気軽に相談できるような機会を提供することを目的としていました。一方、入学センターが主催していた「法政大学卒業生教員懇談会」は、進学相談会等において名刺交換した本学の卒業生教員を招待して開いていたため、比較的年齢層が高い方が参加する情報交換の場でした。

学校現場では、卒業した大学を互いに共有する機会が限られています。「法政大学卒業生教員の集い」が、本学を卒業し教職に就いた者同士、年代や勤務先の違いを越え、卒業生教員相互の深い絆をつくる場となることで、勤務先の管理職や同僚には相談しにくいこと

でも、気兼ねなく相談し合えるような関係を築けるよう期待しています。また、学校現場の生の声を本学関係者が把握できる場ともしたいと考えます。

2 第1回「法政大学卒業生教員の集い」当日の様子

当日は、定刻の18時に小秋元副学長から御挨拶をいただき、第1部を開会しました。今回は記念すべき第1回ということもあり、廣瀬総長から「法政大学からみた高大連携」という演題で御講演いただきました。

その後、今年度4月から教壇に立っているフレッシュマン教員の参加者11名一人一人から自己紹介していただき、代表して都立高等学校のK先生から御挨拶をいただきました。

第2部は、会場をスカイホールから隣のラウンジに移し、軽食をとりながらの懇親会・情報交換会を行いました。参加者個々に本学で学んだ年月は異なりますが、同じ教職に就く者同士のふれあいの時間は瞬間に過ぎ、記念撮影の後、次年度の再会を約束して閉会しました。

結びに、参加者から寄せられた感想や、教職を目指す後輩たちに向けたメッセージの一部を紹介させていただきます。

- ☆ 外部教員とのつながりがあまりなかったため、コミュニケーションが取れてよかったです。
- ☆ 多くの卒業生教員と話すことができ、情報交換ができました。
- ☆ 目指す教師像をしっかりともち、いろいろなことを吸収してください。
- ☆ 「なぜ教員になりたいか」を常に考えてください。

